

スキーリゾート研究会では、Withコロナの時代においても「安心・安全なスノー体験」を楽しんで頂けるように、スキー場における「ニューノーマル」について議論してきました。

JAPOW.Styleは、そうした議論をもとに、Withコロナ時代におけるスキー場での新型コロナウイルス感染症対策を整理したものです。

JAPOW.Style

スキーリゾート研究会は、日本のスキー場を「Japow.」を核にブランディングを行い、国際的な競争力を有したスキーリゾートとしていくことを目的に、公益財団法人日本交通公社の自主研究事業として立ち上げられた研究会。

全国のスキー場やスノースポーツ関連事業者、スノーエリアのDMOや観光関連組織等が会員となり、各種調査研究や議論を進めてきました。

JAPOW.とは

JAPOWとは、Japan + Powder + Snow から生まれた造語。日本のパウダースノーを象徴する言葉として世界のスキー・スノーボーダー達のなかで広まってきました。しかし、JAPOWは世界に広まるなかで、パウダースノーでの滑走体験だけではなく、温泉や食事、アクティビティ、文化的体験等、日本の山岳リゾートでの体験、ひいては日本の冬季観光の魅力を象徴するキーワードとなってきています。

JAPOWという入口から、日本の雪山だけではなく、その裾野に広がるライフスタイル、そして多様な体験への関心に繋がることは、冬季の集客や滞在時間の延長、さらには夏山への関心拡大に寄与することが期待できます。

JAPOWは日本の山岳リゾートのポテンシャルを包含したキーワードであると捉えることが出来ます。

JAPOW.Styleとは

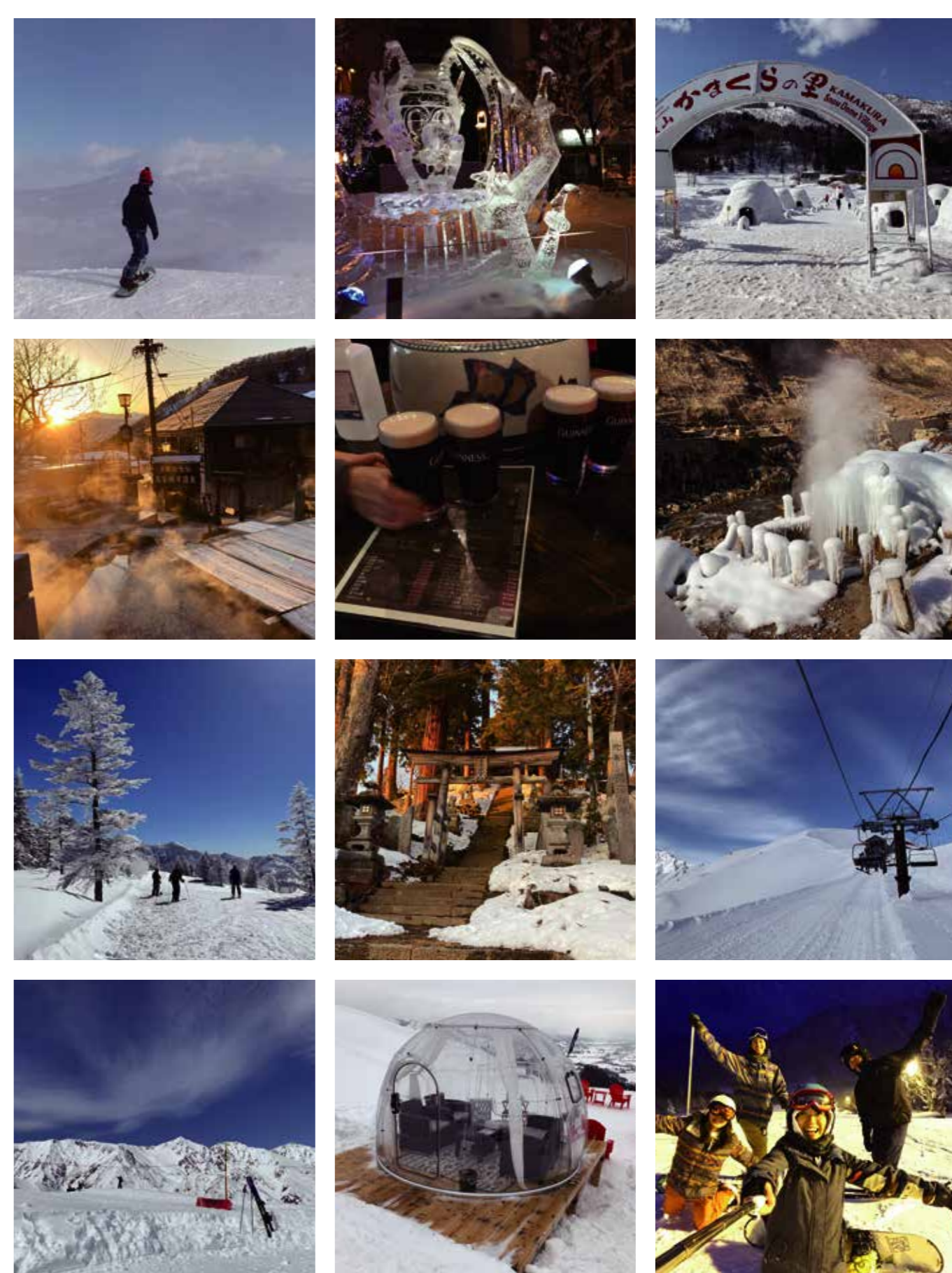
JAPOW.Style を設定

スキーリゾート研究会では、上記のようなパウダースノーだけではなく、より軽微な雪遊びや、その背景にある雪山でのライフスタイルを含めた概念を「JAPOW.Style」としてまとめ、日本の冬季観光の振興について議論してきました。

COVID-19の拡大

Withコロナ時代における JAPOW.Style の構築

新型コロナウイルスの世界的な拡大をうけ、スキーリゾート研究会では、これまでの「JAPOW.Style」の概念に、Withコロナにおけるスキー場での「ニューノーマル」を加え「JAPOW.Style」を再設定しました。そして、それらを具現化していくために、疫学専門家の監修のもと、スキー場関係事業者とともにワーキンググループを立ち上げ、スキー場における新型コロナウイルス感染症対策を、チェックリストの形で整理しました（JAPOW.Style プロジェクト）。さらに、透明性の確保やコミュニケーションの観点から認証制度やアイコンの制作を行いました。



JAPOW.のイメージ

JAPOW.Style プロジェクト

業界ガイドラインに記載されている感染リスクを減らす感染症対策のみならず、どのようにして発信することで透明性を確保するか・どのように発信することで顧客体験を損なわないようにするのかという「顧客への伝え方」も考慮して、評価基準を策定する。

1 感染症対策に関する透明性確保

専門家の監修の下、スキー場における新型コロナウイルス対策チェックリストを作成
感染症対策の取り組みを発信することで、透明性を確保する

2 来訪者に「安心・安全」を訴求

来訪者からみて基準をクリアしたということが一目でわかるようにする
(認証バッジやアイコンの制作)



監修：
岡田悠偉人氏
(ハワイ大学 疫学専門家)

実地疫学者としてアフリカ・中東・アジアにて感染症対策・母子保健・医療施設調査を行う。現在はハワイ大学がんセンターにて疫学研究を行い、日米の病院や行政に支援を行なっている。新型コロナウイルス対策では累計で3万人の医療者にオンライン講義を行い、複数の病院や企業、レジャー施設において感染管理を導入した。ハワイ大学公衆衛生学修士。2020年より(公財)日本交通公社客員研究員。

JAPOW.Style における感染症対策の考え

新型コロナウイルス対策の考え方：基本事項

1

科学的根拠に基づく対策で
リスクを軽減

科学的根拠に基づく対策で、
感染リスクを大幅に減らすことができる。

三密(密閉・密集・密接)対策を基本とする感染対策を徹底することで、
新型コロナウイルスの感染リスクを大幅に低下させることができる。
現場に権限委譲して、現場にあった感染対策を行っていく。

2

感染者が出た場合の対応を
事前に準備

症状がない感染者も存在し、
感染リスクをゼロにすることはできない。

科学的根拠に基づく感染対策を行っても、無症状群がいることから
感染リスクをゼロにすることは不可能である。
クラスターが発生した場合の対応もシミュレーションしておく。

3

感染症対策だけでなく、
世論と対話

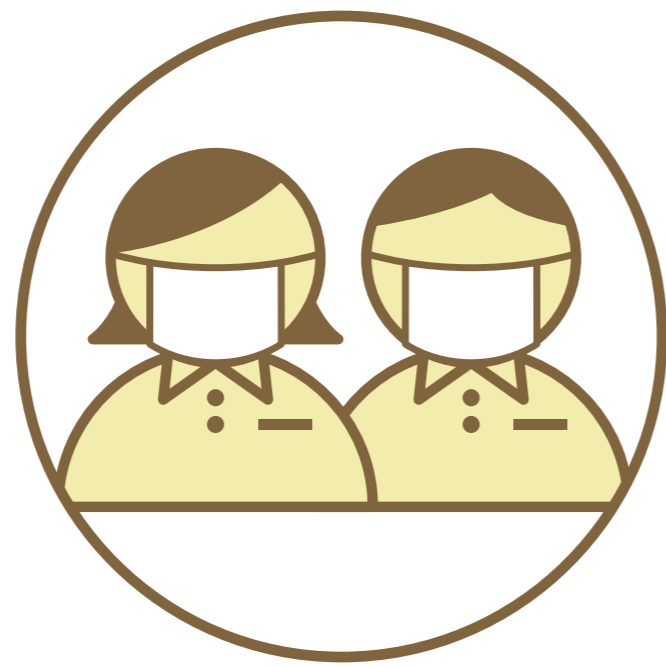
感染対策だけでなく、
世論のマネジメントも重要である。

新型コロナウイルス対策はウイルス対策だけでなく、
経済的・政治的・社会感情的な課題も伴うので、
しっかりと感染対策を見せて、世論と対話していく。

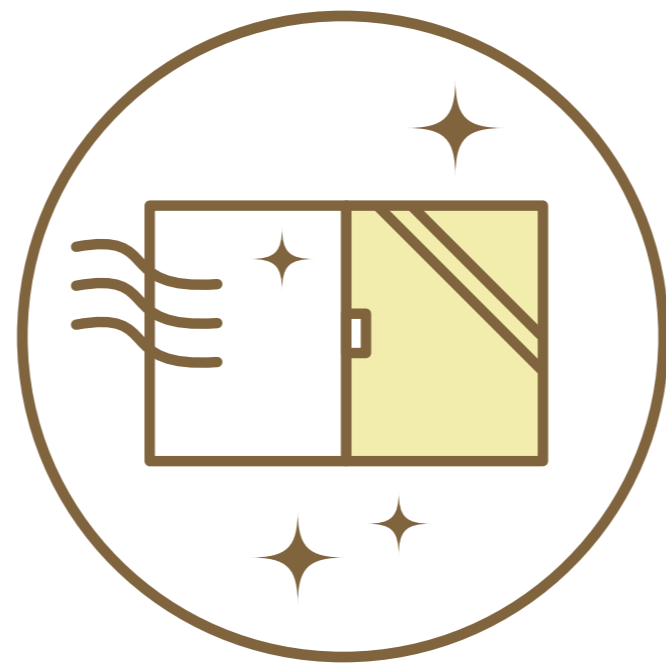
新型コロナウイルス対策に関する5つの対策



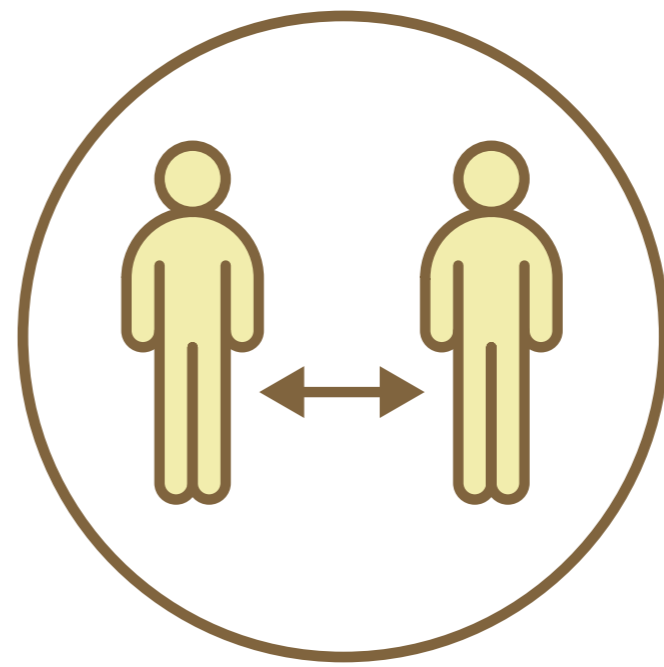
手指衛生



スタッフ管理



換気



社会的距離



マスク着用

新型コロナウイルス対策に関するマネジメントの方向性

1

実施する感染症対策を
しっかり記録し保管する

透明性

感染対策や感染に関する情報を、
スタッフ・利用者・保健所に適切に公開及び共有して、透明性を担保する。
また感染対策として実施した内容を記録として保管する。

2

関係者との
コミュニケーションにより
精神的な安全・安心を提供する

コミュニケーション

一番効果的な感染対策は、コミュニケーションである。
スタッフ・利用者・保健所と積極的にコミュニケーションを取り合いながら、
精神的な安全と安心も提供していく。

3

利用者がストレスなく
感染予防ができるようにし、
体験を損なわないようにする

ストーリー

すべての感染リスクを施設側が請け負う必要はなく、利用者が感染予防に
参加できる環境を作る。感染対策をネガティブなものではなく、
観光体験のストーリーの一部に組み込んでいく。

JAPOW.Style の仕組み

①感染症対策に関する透明性の確保、②来訪者に対する「安心・安全」の訴求、のために、JAPOW.Styleプロジェクトでは、以下のツールと仕組みを確立。

チェックリストのテーマ

- 施設管理に関して
- スタッフに関して
- スキー場運営に関して
- レンタル貸出に関して
- 屋内施設に関して
- スクールに関して
- コミュニケーションに関して

1

チェックリストの作成

各事業者が自身の新型コロナウイルス感染症対策を実施するにあたって、簡単に取り組み状況をチェックできるように作成
チェックリストはテーマごとに作成。各事業者が該当するテーマを活用。

※チェックリストの詳細について情報が必要な場合は、スキーリゾート研究会事務局 (ssrm@jtb.or.jp) までご連絡をお願いしております。

2

認証制度の制定

チェックリストをもとに各テーマにおいて80%以上の項目をクリアした事業者は「ニューノーマル」を実施していることを示す認証バッジを掲げることが出来る。

認証を受けるためには、チェックリストに対するセルフチェックの実施、自己宣言(宣言書の提出)を必要とする。

① セルフチェック

チェックリストの80%以上でクリア

② 提出

「チェックシート」と「宣言書」を事務局へ提出

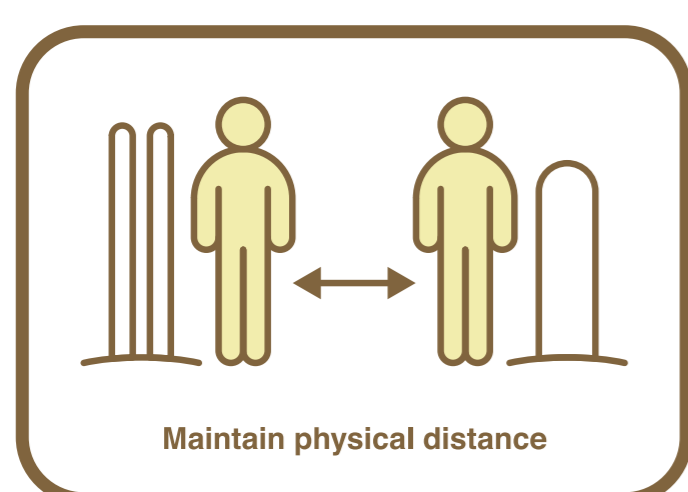
③ 認証取得

②により認証を取得でき、認証バッジを得ることが出来る。

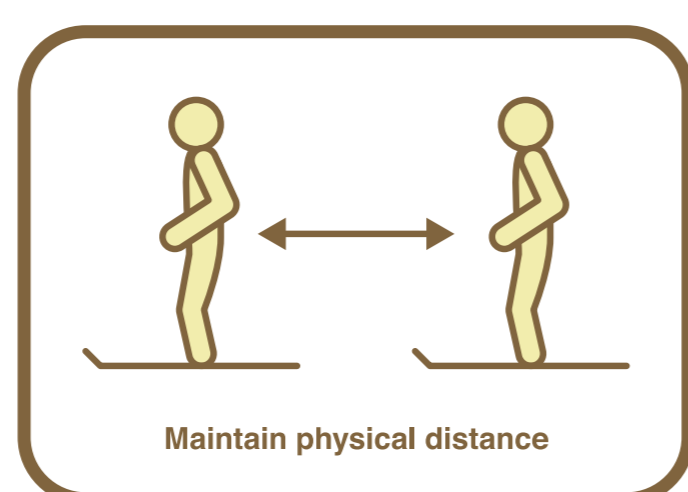
JAPOW.Style 認証バッジ



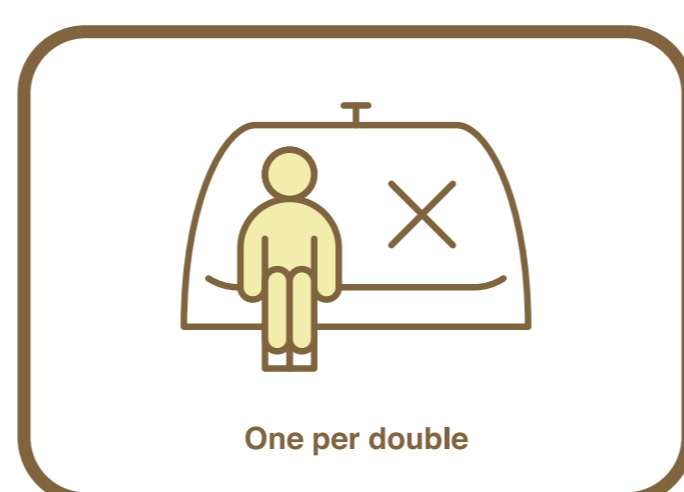
新しい行動様式を促すアイコン



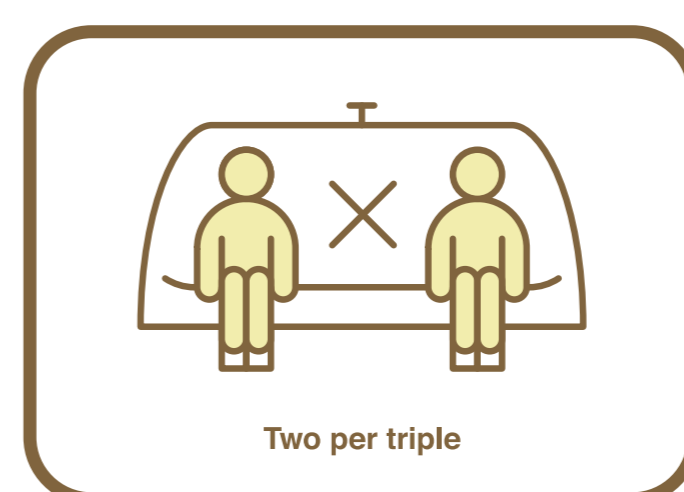
スキーヤー同士の距離 a



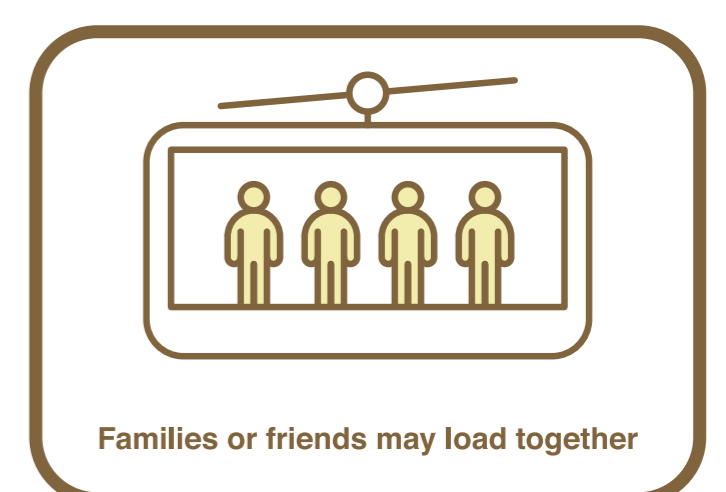
スキーヤー同士の距離 b



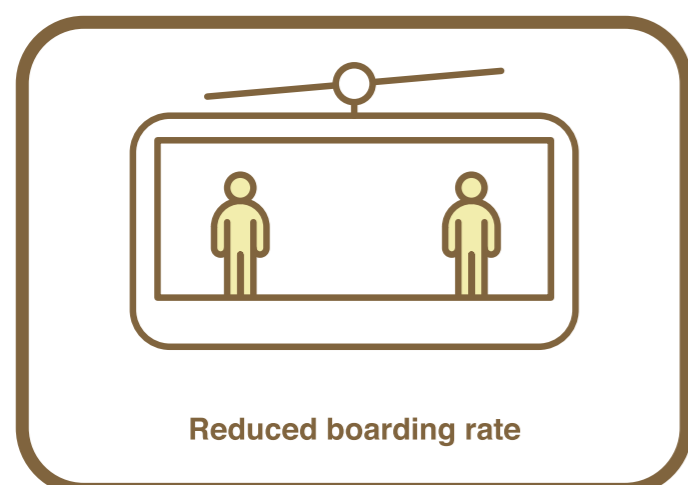
リフト:間隔を開ける a



リフト:間隔を開ける b



ゴンドラ:家族や同行者はOK



ゴンドラ:人数制限



フェイスカバー、マスクをしましょう



大声での会話は控えましょう



咳エチケットを守りましょう



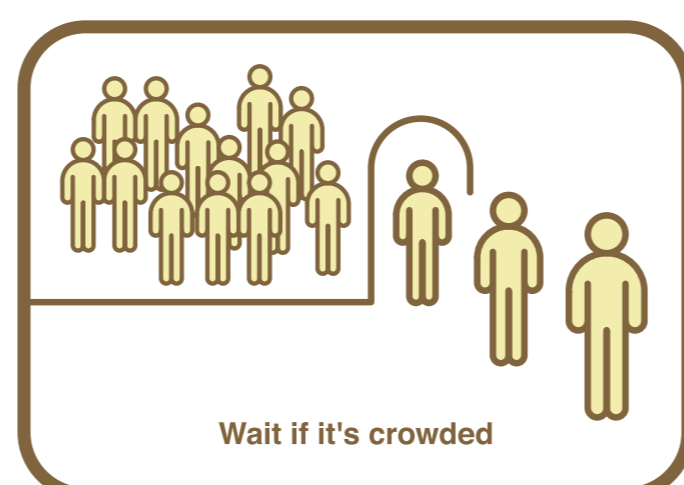
手指消毒をしましょう



消毒・清掃を徹底しています



体調が悪い場合はご遠慮ください



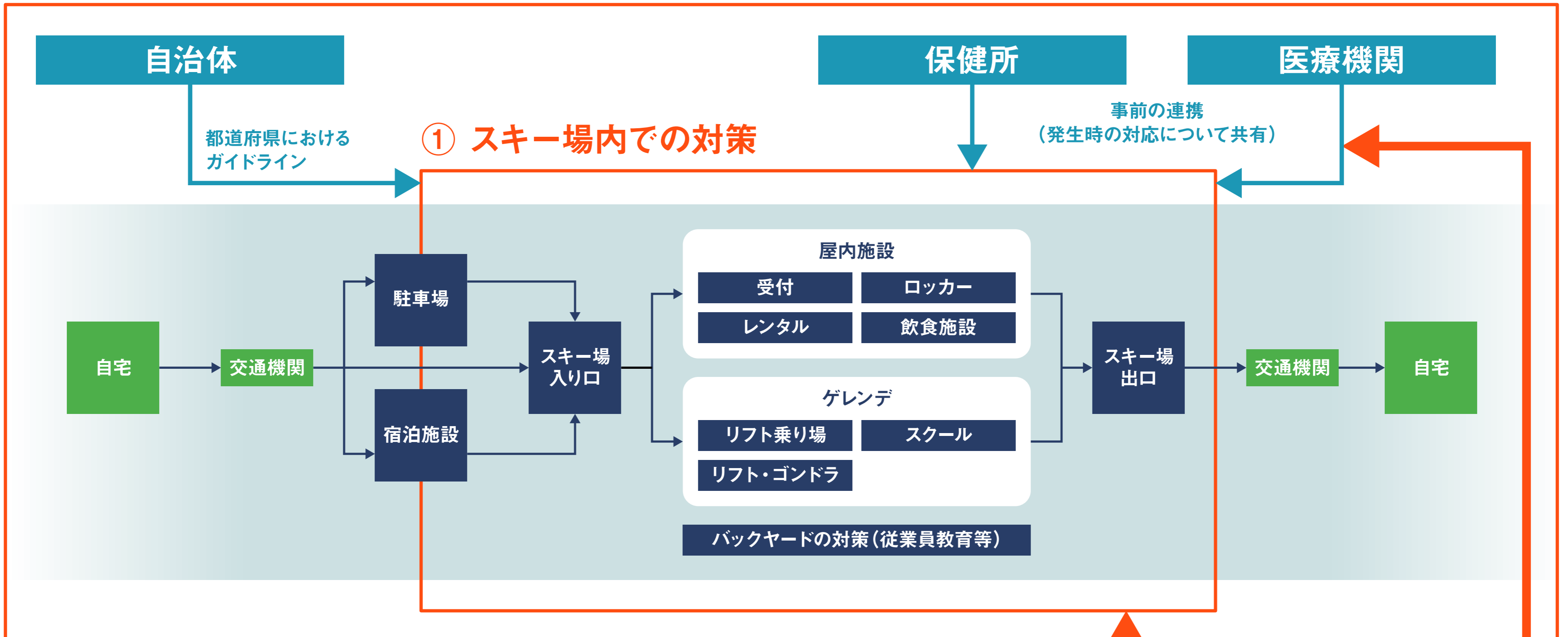
混んでいる時は、待ちましょう

JAPOW.Style の位置づけ

スキー場における感染症対策と JAPOW.Style

スキー場における感染症対策は大きく①スキー場内での対策、②地域の関係機関との連携、③消費者を含む社会への発信、と分けられる。Japow.Style はスキー場内での対策(①)及び、社会への発信(③:顧客、世論マネジメント)を支援するもの。

② 地域の関係機関との連携

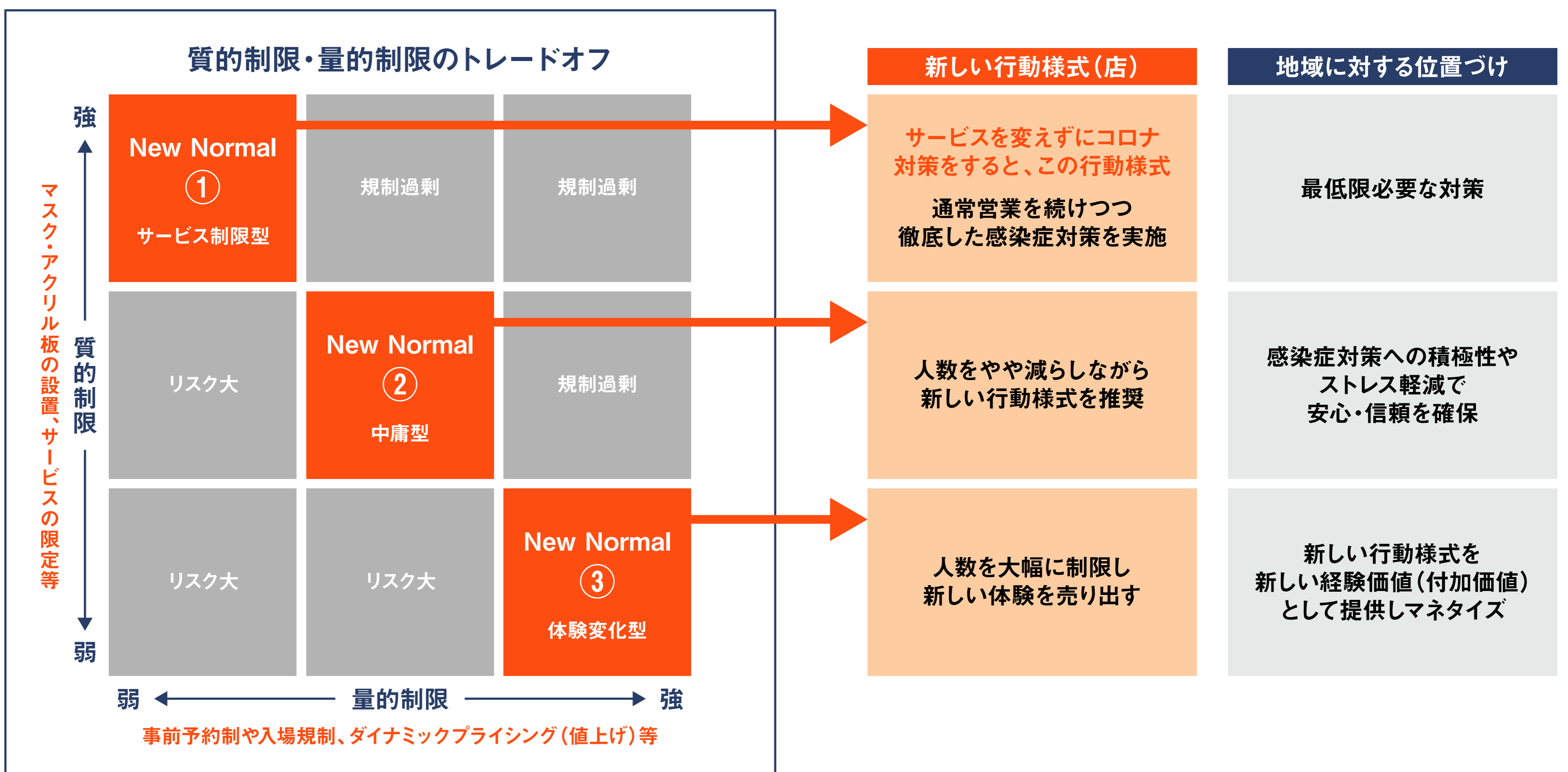


③ 消費者を含む社会への発信



JAPOW.Styleにおける将来的な評価基準の考え方

衛生管理を地域のブランディングに繋げていく。衛生管理で経験価値を損なうのではなく経験価値化し、マネタイズにも繋げていく。



「質的制限・量的制限のトレードオフ」の考え方

様々な感染症対策の取り組み(質的制限:マスクの着用義務・アクリル板の設置等)は、顧客体験を損なうことにつながりかねない(New Normal①)。一方で、こうした感染症対策なしに新型コロナウイルス拡大を防ぐためには、来訪者の人数を制限(量的制限:入場制限・値上げ等)を実施する必要がある(New Normal③)。